

事前評価個表

整理番号	5
------	---

地域（地区）名	<small>かみかわなんぶ</small> 上川南部地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	旭川市ほか13市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	道、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>上川南部森林計画区は、北海道のほぼ中央に位置し、中央部は大雪山系、南部は夕張山脈と日高山脈に囲まれ、広大な上川、富良野の各盆地を形成し、中央を大雪山系を水源とする石狩川が貫通し、南部には石狩川の支流である空知川が流れ、広大な沃野を形成している。</p> <p>本計画区の総面積565,477haのうち、森林面積は420,352ha（森林率74%）であり、その内訳は国有林274,155ha、道有林36,886ha、その他一般民有林109,311haとなっている。また、計画区内の林道延長は390,000mで公道等を含む林内道路密度は13.3m/haとなっており、このほかに林道の支線としての作業道が整備されている。</p> <p>一般民有林は、カラマツ、トドマツを主体とした人工林が47,959ha（人工林率44%）であり、うち39%が 齢級以下の若齢級で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、近年の木材価格の低迷と林業従事者の高齢化や不況等から手入れが不十分な森林が見られるようになってきた。</p> <p>このため、上川南部地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を推進する必要がある。</p> <p>本計画に基づき森林の配置や齢級構成に応じ整備を行うことによって森林の有する多面的機能の発揮の確保が可能となる。また、林道等は、森林整備や木材生産のほか、地域住民による森林レクリエーション等にも大きな役割を果たすこととなる。</p> <p>その他、他産業との連携等に関しては、農耕地の多くが森林に近接していることから、農林業の振興、農林道の整備において関係部局等との連携を図っている。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：23,034 ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>路網整備：2,930 m 林業専用道開設</p> <p>総事業費：6,109,870千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.58 (総便益(B) = 52,834,888千円、総費用(C) = 11,530,154千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林の整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源かん養、国土保全等の機能の確保に加え、将来の優良材の安定的な生産の上で有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備と路網整備が適切に計画されている。</p> <p>また、効率性、有効性も十分に認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

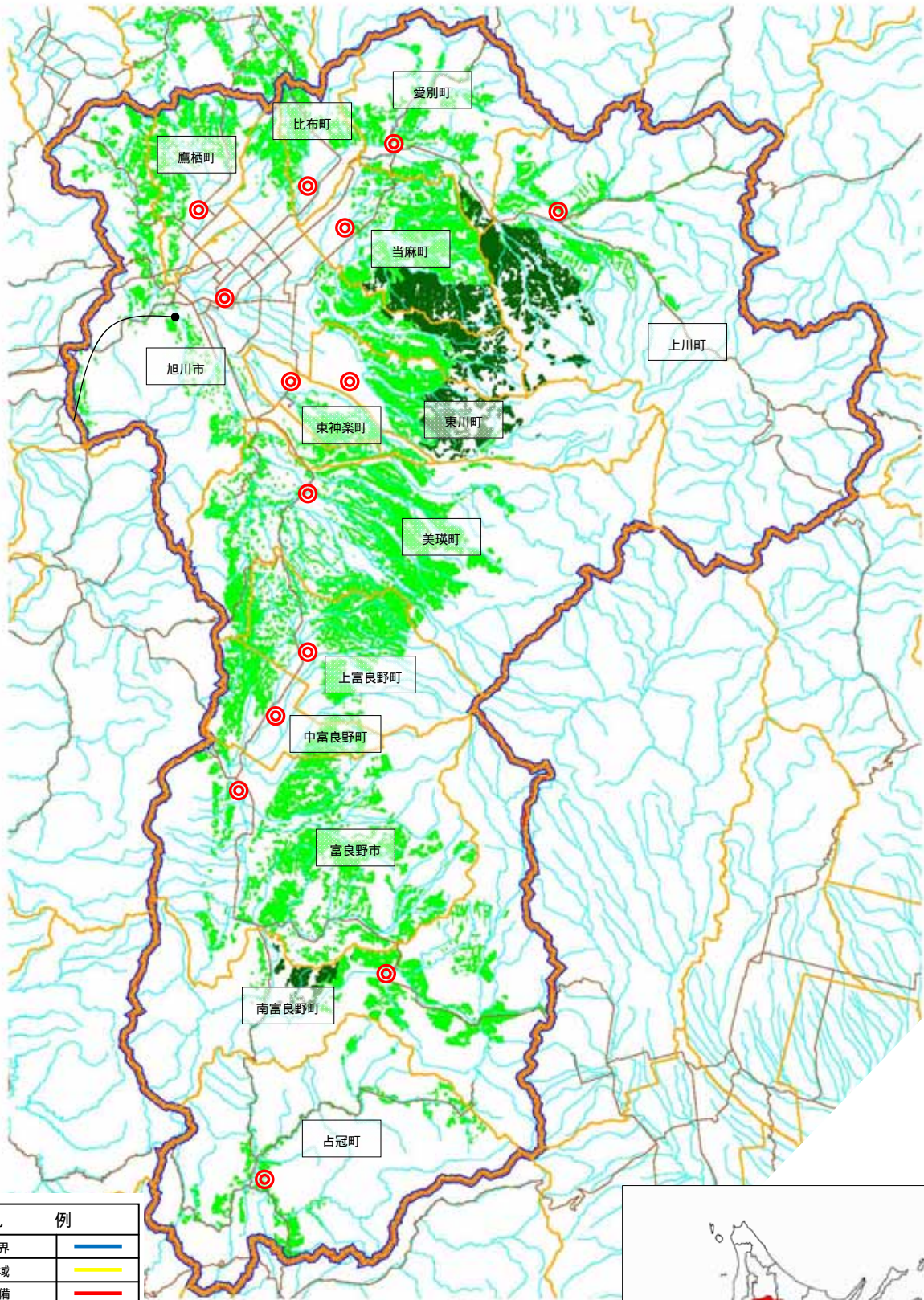
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 上川南部

北海道
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	12,445,579	
	流域貯水便益	4,292,525	
	水質浄化便益	7,330,562	
山地保全便益	土砂流出防止便益	22,470,984	
環境保全便益	炭素固定便益	3,217,837	
木材生産便益	生産等経費縮減便益	9,640	
	木材生産確保・増進便益	2,998,985	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	161	
	森林整備促進便益	68,615	
総 便 益 (B)		52,834,888	
総 費 用 (C)		11,530,154	
費用便益比	$B \div C = \frac{52,834,888}{11,530,154} = 4.58$		

森林環境保全整備事業 上川南部地域（北海道） 概要図



凡	例
計画区界	
事業区域	
森林整備	
国道・主要道	
河川	
市町村界	
市町村役場所在地	
一般民有林（人工林）	
道有林（人工林）	

